

昭和47年度第4回核データ検索システム

ワーキンググループ議事録

日 時 昭和48年2月26日(月) 13時30分~17時35分

場 所 日本原子力研究所本部第3会議室

出席者 五十嵐 信一(原研) 加藤 和明(高エネルギー研)
金森 善彦(原研) 川合 将義(NAIG)
中川 康雄(原研) 西村 和明(原研)
八谷 雅典(三井造船) 更田 豊治郎(原研)
山越 寿夫(船研)

議 事

1. 前回議事録確認

訂正は次の通り

ア.1 6行 中嶋籠三 → 中嶋龍三

2. 専門部会報告

2月22日東海研で行なわれた核データ専門部会の報告が更田委員よりあった。

3. 48年度計画

a) 重ね合せプロット

プログラムが完成し、資料とソースカードがIBMから原研に送られてきた。核データ研の成田氏と、金森委員が、FACOMで通し、KEDA KとUKNHLのプロットルーチンをつけ加える作業を行なっている。

現在プログラム上の問題点として

- 対数軸が書けない
- 内挿を行なわない

の二点が指摘された。これらの問題点についてはプログラムの担当者の会

合を早急に開いて検討する事にした。

さらに、プログラムの報告書についてもその書き方等を担当者間で検討する事にした。

今後の予定は

- プログラムを完成し、インプットの資料をワーキンググループメンバーに渡す …… 4月末日
- 各メンバーが一核種を担当してテストランを行なう …… 6月末までとした。

5月、6月の2ヶ月間のテスト期間の作業形態については、五十嵐委員が原研側の窓口となり、外部のメンバーとメールでデータの交換を行ない、外部メンバーの分担分を処理する。原研のメンバーは各自 FACOM で計算を行なう事とした。担当する核種については次回に決定する。対象とする量はプロット可能なすべての量とする。ただし、あくまでもテストであるので、その結果については完全性を期待しない事とした。

以上のテストの経験を基礎において、その後の作業方針と計画を決定する。

b) NESTOR

NESTOR の index の修正作業は中川委員の作業結果を見てから始める事とする。

c) COMFORD

評価ワーキンググループ共鳴パラメータ収集グループのデータを入れ、リスト等の output を出す等の作業を行なう。

- | | | |
|----------|---|--|
| d) 現状表示 | } | a) のテストおよびテスト後の作業などの仕事量がかなり大きいので 48 年度作業からは除く。 |
| e) 三次元表示 | | |

4. 議長（グループリーダー）交代

更田委員からリーダーを交りたい旨の提案があったが、結論が出ず、次回にまわす事にした

5. 次回

4月27日(金) 東海で行なう。

以上